

岩波ホール発

アンコール公演 第四弾

白石加代子「百物語」

構成・演出 | 鴨下信一

出演 | 白石加代子

宮部みゆき「小袖の手」

朱川湊人「栞の恋」



Designed by charhan ramone

2022. **12.4** (日)

14:00開演 (13:15開場)

東京エレクトロン荳崎文化ホール
大ホール

全席指定・税込

一般:4,800円

*未就学児のご入場はご遠慮ください。
(託児可。3日前までにお申し込みください)

まだ間に合います。これからが「百物語」最終便!!

前売
開始

フレンズ会員先行発売/ 9月3日(土) 10:00~ 会館のみ取り扱い

一般・オンライン/ 9月10日(土) 10:00~ *フレンズ、一般とも初日は電話予約優先

お問合せ・お申込み

東京エレクトロン荳崎文化ホール

TEL.0551-20-1155 (受付/8:30~17:15)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)、祝日の翌日

【主催】東京エレクトロン荳崎文化ホール(指定管理者:株式会社ケイミックスパブリックビジネス)/UTYテレビ山梨

【協力】一般社団法人舞台芸術共同企画 【後援】荳崎市教育委員会

詳細は
チラシの裏面を
ご覧ください

企画・製作 メジャーリーグ

口の中に広がる何とも言えない、美味な味。

笑いも涙も、苦味も旨味も、

人生の味わいがたっぷりのグルメな二本立て



白石加代子「百物語」

構成・演出 | 鴨下信一 出演 | 白石加代子

宮部みゆき「小袖の手」 朱川湊人「栞の恋」

——妖しく、愛しい袖

このシリーズで取り上げていただいた拙作「小袖の手」は、私がまだ作家として駆け出しのころの作品です。初演の際、客席であやうく涙しそうになりました。それほど嬉しかったし、深く感動しました。

数百人の観客を前に、舞台上で語る白石さんは、たった一人です。でも本当は、白石さんの後ろに大勢の語り部たちがいる。遙か古の時代から、嘗々と怪談を語り継いできた人びとの魂がついているのです。そのなかには、江戸の間、江戸の怪異を語っていた人びとの魂もありました。私が作品のネタにした着物の袖よりも、舞台の上の白石さんの着物の袖の方が、はるかに豊穡で神秘的な幻想と怪異を隠していました。語りながら白石さんが袖をひるがえすと、その断片がひらり、はらりとこぼれ落ちるのが見えました。

私が江戸怪談に魅入られ、憑かれたように書き続けるようになった理由を、察していただけるでしょう。駆け出しの身で、こんな贅沢で劇的な体験をしてしまった以上、もう逃げられません。

というわけで、白石さんには責任をとっていただきたく——私は今日も、「また舞台で読んでもらえるといいな」と思いつつ、江戸怪談を書くのです」

宮部みゆき

(白石加代子「百物語」シリーズ第二十九夜「お文の影」「ばんば憑き」パンフレット原稿より転載)

——ミラーボールのような百面体の心

私にとって白石加代子さんは、長い間、“怖い人”であった。

その演技に初めて接したのは金田一耕助シリーズの映画だったが、当時は中高生だったので、「何だか映ってるだけで、迫力がある人だなあ」くらいの認識しか持っていなかった。しかし、その後ビデオで『女囚さそり 第41 雑居房』を見て、そう感じたのは気の迷いでなかったと強く実感した。その劇中の白石さんは、まさに迫力の塊であったからだ。本当に何かが憑りついているとしか思えない演技で、「役が憑依してしまう役者さんがいると言うけど、ちょっと憑き過ぎなのでは」と、こちらが心配になってしまうくらいだ。

以来、白石さんを“怖い人”と思いつけてきたのであるが、言うまでもなく、それは大きな間違いである。何のことはない、単に私が演劇に疎く、舞台の上の白石さんを見る機会を持てなかっただけのことだ。

拙作の「栞の恋」を百物語の演目に選んでいただき、その舞台を拝見した際に私はそれを思い知り、己の考えの浅さを恥ずかしく思った。その時に感じた通りに言えば、白石さんの舞台は、“ちょっとばかり何かに憑かれたくらいで、できるものではない”ということだ。もしかすると白石さんの中に何十通りもの白石さんがいるか、あるいはミラーボールのような百面体の心を持っているのかもしれない——そう考えることで私は自分を納得させたが、その時から白石さんは、もう“怖い人”ではなくなってしまった。

是非みなさんにも、おちやめで可愛くて、黒目がちでおさげが似合う白石さんをご覧いただきたい。

朱川湊人

《公演ホームページ》 <https://ml-geki.com/hyakumonogatari2022/>

※最新情報は公演ホームページにてご確認ください。



照明 | 阿部康子 音響 | 清水麻理子 衣裳 | 池田洋子・江幡洋子 結髪 | 笹部純・柴崎尚子 演出助手 | 平井由紀 舞台監督 | 矢島健 宣伝美術 | チャーハン・ラモン
広報 | 横島多美枝 制作 | 児玉ひろみ 協力 | 一般社団法人舞台芸術共同企画 hairmake Pure 株式会社スタジオオーデュボン
プロデューサー | 笹部博司 企画・製作 | 株式会社メジャーリーグ

日本を代表する女優 白石加代子。妖しく力強く美しい語り魅了する伝説の舞台をお楽しみに!!!

2022年12月4日(日) 開場13:15(開演14:00)

東京エレクトロン 荳崎文化ホール 大ホール 〒407-0002 山梨県荳崎市長井町坂井205

全席指定・税込 一般 4,800円

*未就学児のご入場はご遠慮ください。
(託児可。3日前までにお申し込みください)

車での来館 中央自動車道「荳崎IC」から約10分(第一駐車場、第二駐車場それぞれ約200台)
公共交通機関での来館 ・JR 中央本線「荳崎駅」から約2.5km
・荳崎駅から山梨交通バス「浅尾」(仁田平)行(4番乗場)で約5分「文化ホール入口」下車 徒歩約6分「増富温泉郷」行(2番乗場)で約6分「絵見堂」下車 徒歩約8分

前売開始 <フレンズ会員先行発売> 9月3日(土) 10:00~ 会館のみ取り扱い <一般> 9月10日(土) 10:00~

(会館の発売初日 フレンズ会員・一般ともに) 10:00~ 電話予約・オンラインチケットサービス(フレンズ、一般とも初日は電話予約を優先します)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため予防策に取り組んでおります。ご来場のお客様におかれましては、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご利用の際はHPにて最新の情報をご確認ください。

お問合せお申込み

東京エレクトロン 荳崎文化ホール

TEL.0551-20-1155

<受付> 8:30~17:15
<休館日> 毎週月曜日(祝日の場合はその翌平日)、祝日の翌日

便利なオンラインチケットサービスはこちらからお申し込み可

●YCC県民文化ホール 055-228-9131
●チケットぴあ [Pコード:514-279]

